

THE KOBECOCO

特集 / KOBE & MY LIFE

NOVEMBER 1975 NO.175 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和50年11月1日印刷 通巻175号
昭和50年11月1日発行 毎月1回1日発行





NEW ÉLÉGANCE

ベニヤコーディネートファッションは
磨き抜かれた大人のエレガンス。
フェミニンな心をファッションに托して...

LADIES SHOP
Beniya
the ladies fashion of the four seasons create beniya

神戸

三宮センター街 332-2135

ベニヤエルベ(センタープラザ) 332-2829

さんちカレディスタウン 321-2678

大阪

梅田阪急三番街 372-8093

上本町近鉄百貨店2F 779-1231

ミナミ地下センター 213-6128

東京

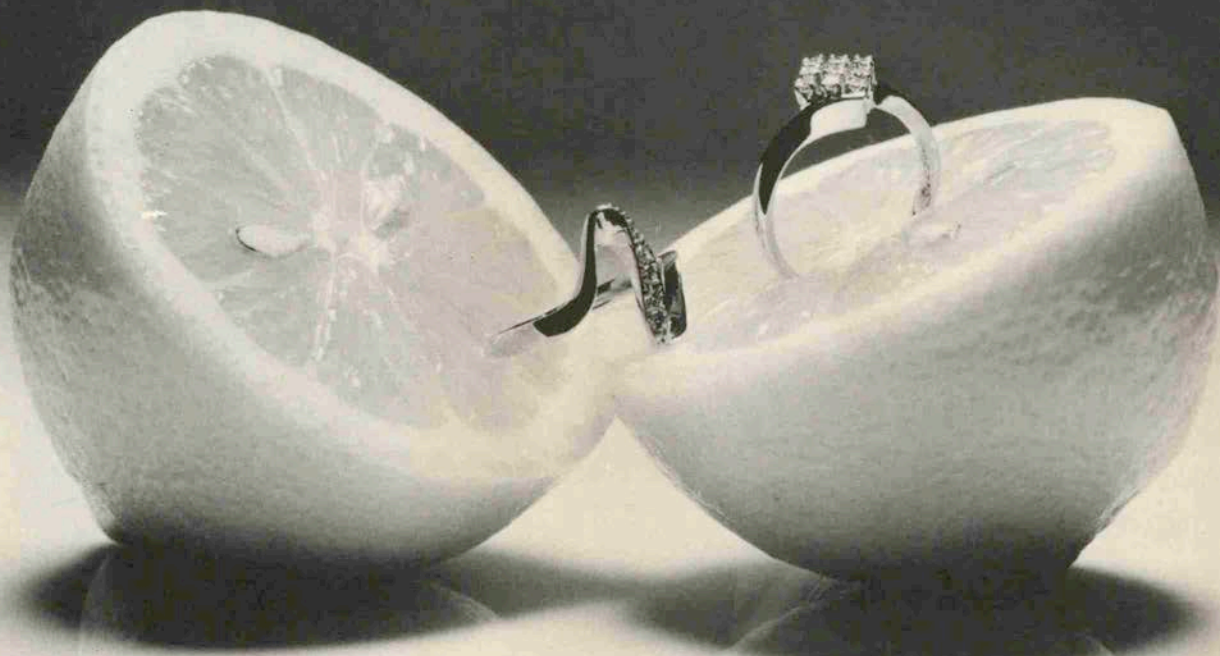
日本橋東急百貨店1F 211-0511

渋谷別館バルコ3Fに、11月下旬ベニヤが
OPEN致します。

よろしく願いいたします。

PHOTO/藤原保之 モデル/林あや子

多彩なデザイン、確かな品質のミキモト。



——世界の宝石店——

MIKIMOTO

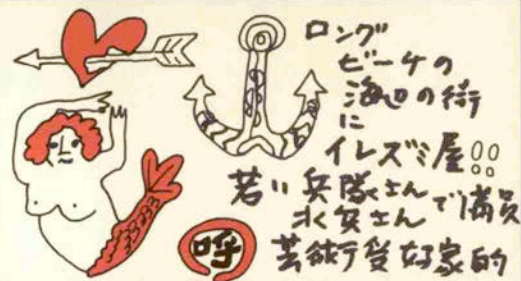
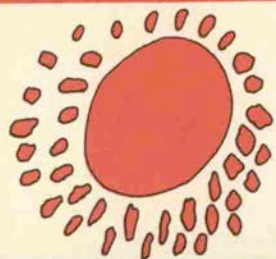
神戸店＝三ノ宮・神戸国際会館 TEL.221-0062

●大阪支店＝堂島・新大ビル TEL.341-0247

●京都支店河原町蛸薬師BAL TEL.241-2970

●大阪＝阪急・阪神・高島屋・大丸・近鉄ア
ベノ店・近鉄上六店・松坂屋

●本店＝東京・銀座 TEL.535-4611



MAROC

聖なる
 モロッコ
 のお祭



ロスアンゼルス
 の街を
 ビツヒーで
 なくても





1個の光る石、
二本の飾り気のないパイプを素材に、
何もない空間に、
小さな宇宙を築きあげていく。
現出したモダン・アートの世界。
18金とホワイトゴールドの腕にかちりと
支えられたダイヤモンドの指輪。

■本社

神戸市鈴合区旗塚通6-3-10 Tel. 231-3321

■神戸外商部

神戸市鈴合区旗塚通7-1-7旗塚ビル Tel. 231-3321

■パールファーム 神戸

神戸市灘区鶴甲3-12-41 Tel. 882-0107

■さんプラザ店

神戸さんプラザビル3F Tel. 391-4085

■大阪支店

大阪市南区安堂寺横通3-38-2南大和ビル Tel. 253-0165

■大阪プラザ店

大阪ホテルプラザ内 Tel. 458-2449

■福岡支店

福岡市中央区赤坂1-11-13大橋ビル Tel. 781-5161

カタログご希望の方は東京都港区赤坂1-3-5

田崎真珠販売促進部までご請求下さい。

あなたの真珠は



パールマークのお店で

TASAKI PEARLS
田崎真珠



FANTASY KOBE <11月>

霧ふる夜の冷氣
裾ひくドレス。漣たつ女ごころ。



キャッツマイリング

.. 宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますのでお気軽にご利用下さい。
定休日は水曜日です。

個性派を目指す

安里

梢

〈宝塚歌劇団・星組〉カメラ・米田 定藏

秋の宝塚。季節は華やかさから哀愁を帯びつつある。素顔の安里梢（あんりこずえ）さんは秋の淡い色が似合いそう。宝塚歌劇団には十年前に入った。「動機ですか？ 母が宝塚のオールドファンだったものですから自然そうになったんですね」。二年間の研修を終えて初舞台を踏んで八年。彼女自身認めるようにどちらかというと地味な存在である。華やかさよりも個性派としてやって行きたいそうだ。四歳のときから藤間流の日舞を始め今に至る。飛弾の高山や京都が好きだという彼女はどこか古風なところに魅かれるのだろうか。舞台も日本ものをやりたいとのことだ。この夏、ハワイへ仲間と遊びに行った。初の海外旅行だが、国内では味わえぬ解放感を味わった。新人公演でうまくやれたとほめられたとき、剣舞で賞を貰ったとき――嬉しかった。「これからも与えられた役を自分なりにこなすことを第一に考えています」という安里梢さんは今、熱心に役に打ち込んでいる。灘区在住。

（宝塚にて）






Office in KOBE

door series IV

太陽神戸銀行 浪花町本店

この扉《人生》を開くのはキミ。
適性適職で豊かな人生を。優れた人材を。優れた企業に。

●若年者〈人材銀行〉  日本ヒューマンリソース

就職希望の方は ☎ (078) 331-0623へ 神戸市生田区海岸通9の2 チャータード銀行ビル3階

関西ピアノ界の闘士

遠藤秀一郎（ピアノニスト神戸大学教育学部講師）

カメラ／米田定藏

葛のからまる門。煉瓦の地肌がのぞく煙突。古風な洋館の屋根。この家ならピアノニストが生まれそう……。帝塚山の静かな住宅地の百年を経た洋館で、扉を開いて迎え入れてくれた遠藤さん。ダークなグリーンにのめし皮のジーンに、モスグリーンシャツ、ベージュのネクタイを合わせたラフなスタイル、二台のピアノのあるクラシックな部屋でNHKのFM放送のための練習中だった。

「母はピアノを、父は亡くなりましたがヴァイオリンを」どことなく漂う音楽的な匂いの豊潤さはそれで。東京芸大を終えて、関西に帰り神戸大学教育学部へ。今、講師になって6年目だが、その間、ドイツへ留学。巨匠クラウデオ・アラウに師事、ベルリン国立音大と2年半の欧州生活を送り、帰国後、神戸市民劇場で京響と協演いらい、タフな演奏活動を続けている。ドイツロマン派のシューマン、ブラームスが得意という彼は、ベートーベンの全曲演奏や、来年は諸井誠、泉茂、調率師と4人で色のイメージによるクリエティブなアクションピアノもやりたいと若々しい。六甲、摩耶を歩き、北アルプスの単独行を好む山男の強靱さと、育ちのいい繊細さが演奏にも現われていることだらう。ホロビッツ、ボリーニの天才型が好きという遠藤さんは関西ピアノ界の「マン・リブ」の闘士と注目されているそうだ。独身。28歳。

（帝塚山の自宅で）



ワインとダンスとショーをお楽しみ下さい

クリスマス パーティー
12月21日(日)～25日(木)
料金 お一人様 ¥10,000
お飲物、オードブル、
テーブルチャージ、
ショーチャージ、
税・サービス料込

忘年会の予約も受付けており
ます。お早目にどうぞ。



ナイトクラブ・レストラン
北野 クラブ

★ 神戸

神戸市生田区北野町1丁目64 TEL(078)231-2251

レストラン

ブラン ドゥ ブラン

★

神戸

神戸市生田区京町77-1 神栄ビル7F TEL(078)321-1455



ストックホルム

東京

東京都港区六本木6-11-9 スウェーデンセンター Phone 403-9046

年中無休・駐車場有



ある集い ★神戸東ローターアクトクラブ



「相手の身になって物事を考える」奉仕の精神を主軸にして地域の中で活動する若い集団、神戸東ローターアクトクラブは、今年6月に五周年を迎えた。

甲南大学、甲南女子大学の学生が中心に、18と28才の会員30名足らずで構成されるこのクラブ、定期的には毎月二回の例会が開かれる。清掃ハイキングやブックフェアなどの打合せがなされ、クラブ奉仕・国際奉仕など、五つに分かれた委員会から出るテーマについて考えあう。

職業奉仕委員会から出たこの日の議論のひとつ、女性が働くこと。女性会員が次々に発言。

「私は……何も仕事でません。……だけど、何か手に職、のようなものがあればと思っています。」
「私、ジャーナリストになりたかったんです。」

—— だけどみんな、結婚したら……仕事ホッポリだしそんな可愛い奥様候補生のよう。

討論の場、親睦の場として集う人生を模索中の若いヒナドリたち、羽を広げて飛び立つ将来はもう近い。

(30ページもごらんください)



第8回発表会フィナーレ

第9回発表会 1975. 11月30日(日)P.M6:00 県民小劇場

聴くだけのレコード

観るだけのステージ

音楽はそれだけではありません

あなただけのステージを 創ってみてはいかがですか

CAFÉ VIN ET WHISKY

“音楽の家”

ET エ ト W T O I

★毎日曜日ミニミニリサイタル

毎夜演奏 7:00 より随意

営業時間/A.M.11:00~P.M.11:30 CAFÉ ¥300 WHISKY ¥500

トアロード三宮センター街西入口スカイトーアビル3F

TEL (078) 332-1755

シャンソン教室生徒募集中ノ

■そのような気持で始めた“音楽の家”も回を重ねて9回目の発表会になりました。10回、10年目の記念発表会に向けて頑張りたいと思っております。今後ともよろしくおねがいいたします。

堀 郁子

■問合わせ 堀 tel 332-0813 エ・トW tel 332-1755



新装

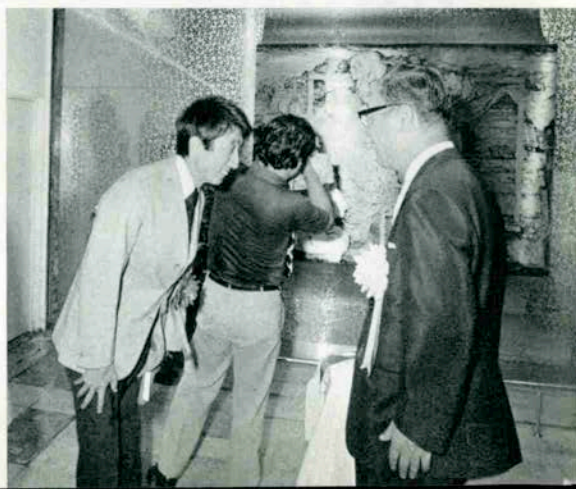
“さんちか”

オープン

「Santica Townで 今日も逢いました
さわやかな恋がはじまる 待ちあわせした
クローバーロード クローバーロード 愛の
姿が似合います」(林春生作詞)

チェリッシュのさわやかな歌声が流れる。
9月27日、新装なった「さんちかタウン」が
オープンした。開業10周年を記念し、総工費
23億円と工期約1か月をかけて完成したもの
で、この日午前10時、交通センタービルの階
段下で、宮崎辰雄神戸市長、片山和男さんち
か名店会会長がテープカットを行った。続い
て、味ののれん街で石阪春生さんのエッチン
グ「女のいる風景」の除幕式、そして、情報
コーナー「インフォメーションこうべ」でも
オープン式が行われた。クラシカル・モダン
でまとめた新装さんちかはファッション都市
神戸の新しい顔として今生まれ変わったのだ。

左上・テープカットをする宮崎神戸市長(左)と片山会長
左下・レリーフ「オーロラ」のある「インフォメーションこうべ」
右端が作者の新谷英子さん
下・エッチングの前で宮崎市長とあいさつをする石阪さん





KOBECCO GALLERY <23>

神戸っ子 ギャラリ―

鄭 相和

「今、いうことは確かに自分の考えだけど、作家というのはプロセスというか色んな意味で考え、思考性もかわってくるので瞬間は答えるけど、いったあとでイヤになりますね。黙って仕事する僕が好きですし、黙って仕事する僕になりたい……」

神戸に住んで満六年。一つの国を知るには、やはり永く住みつかないと……と語る鄭さんは、もうすっかり神戸の作家。私は作家である。日常から離れて仕事をやりたいたい」と、十年間の教壇生活を捨てて本格的に作家活動に専念。パリへ、そして現在は神戸に。

古いビルの最上階。鄭さんらしい住まいといったら失礼かも知れないが、剥げ落ちた壁にかかる「無題」と題された作品群の白く冴えた姿が不思議なコンビネーションを見せてくれる。

表現が違う作家たち。一人の作家は違う一つのことばを持っている。口で喋ることではなく、一つの哲学を。

作家の世界観、価値観と、現実社会の価値観との関わり、これは現代絵画の宿命ともいえることで、作家により二つのタイプに別かれる。これを考える作家と無視する作家と。鄭さんは？「僕は外部からの問題や興味やといったことには全く駄目です。そういう面では鈍感です。僕から内へは入って行けないけど、そういうことが僕に向かってくるんやね。自分の中はカラッポだけど、日本にいていいものも、汚れも自然に寄ってくる……」

僕はものを創る人間であるということ以外何にも解らない、と。

CHUNG SANG HWHA

- 一九三二 韓国に生まれる ●一九五六 ソウル大学美術学部絵画科卒業
- 一九六五 第四回 パリビエンナーレ 韓国現代作家四人展（パリ・テム
- 一九六九 個展（大阪・信濃橋画廊、東京・村松画廊、
- 一九七二 第七回サンパウロビエンナーレ出品参加 ●一九
- 七五 アート・ナウ75招待出品 第四回汎瀬戸内現代美術展 兵庫県在住